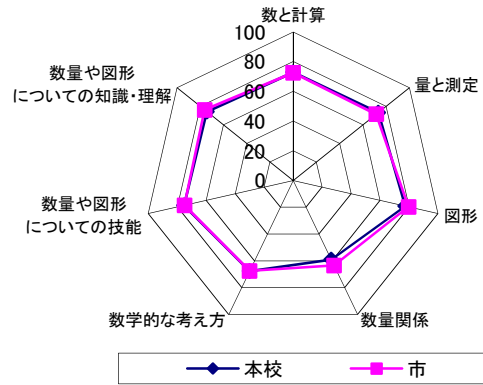


宇都宮市立御幸小学校 第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	72.9	72.5
	量と測定	73.3	71.5
	図形	77.3	79.6
	数量関係	59.1	63.5
観点別	数学的な考え方	67.7	67.6
	数量や図形についての技能	75.4	75.1
	数量や図形についての知識・理解	74.3	76.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は72.9ポイントと市の平均正答率とほぼ同じであった。特に、文章問題を解くための小数の除法の立式は、正答率が高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> この領域を指導するにあたっては、3・4学年の学習が土台となるため、ぐんぐんタイムを活用して分数・小数の四則の計算について復習を取り入れながら指導するとともに繰り返し学習で習熟を図る。また、公倍数・公約数等5年生で初めて学ぶ内容についても正しく理解できるまで繰り返し学習を行い、定着を図れるようにする。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は73.3ポイントと市の平均正答率を上回った。特に、立方体の体積を求める立式や平均を求める問題の正答率が高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> この領域を指導するにあたっては、立体模型や1立方センチメートルを使って学習を進め、体積の単位や大きさについて具体的なイメージを持って学習できるよう指導する。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は77.3ポイントと市の平均正答率より2.3ポイント下回った。特に、四角形の内角の和が360度であること、外角は180度から引いて求めることについて十分理解されてないために、求めることができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> この領域を指導するにあたっては、四角形は対角線で二分すると三角形が2つできることや四角形の4つの角を切り取り頂点を1点に集めると360度なることを操作を通して指導し、正しく理解できるようにする。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は59.1ポイントと市の平均正答率を4.4ポイント下回った。特に、小数の計算については、十進法や計算のきまりが十分理解できていないため、計算するときの順序や小数点を移動が正しくできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> この領域を指導するにあたっては、既習の計算のきまりを確認しながら、小数でも同じきまりで計算できることを理解させていく。また、典型的な例題を解く時間を設定して習熟を図る。